



# Hiroshima City University Language Center

広島市立大学語学センター  
Newsletter No.57 (2017.10.5)



## フランス語特集 市大初、続々

今年度4月、提携校の1つ、フランスのオルレアン大学から、Léa Graillotさん（以下、レアさん）が本学に派遣されました。文学・言語・人文研究科言語学博士前期課程、言語学・教育学専攻でフランス語教員を目指すレアさんは、前期の間、オルレアン大学短期特別研修参加者対象の補修授業などを担当し、およそ260時間の教育実習を本学で行いました。この成果により、今後、オルレアン大学からの継続的な教育実習生の派遣が期待されています。

また、国際学部4年生の西航平さんが市大在大学生として初めて、8月に仏検1級に合格しました。特集記事1では、西さんがフランス語通訳を担当しています。（西さんの仏検1級合格体験記は、特集記事2として4ページに掲載しています。）

### 目次：

《フランス語特集1》オルレアン大学教育実習生 レア・グライオさんインタビュー	1
eラーニング JLPT N1 模擬試験実施	2
廊下ギャラリー 短期語学研修写真展	2
たどたどしい話を聞いてもらえる条件 情報科学研究科 日浦慎作先生	2
アルベルチーナが力の限り呼び鈴を鳴らして 名誉教授・芸術資料館もと館長 大井健地先生	3
《フランス語特集2》在学中初 仏検1級合格 国際学部 西航平さん	4
前期 いちだい知のトリアスロン映画上映会	4
視察・オープンキャンパス報告	4

## 《特集記事1》オルレアン大学から初の教育実習生 レア・グライオさんインタビュー

ーレアさんがフランス語教員を目指そうと思ったきっかけは何ですか？

海外の人たちとフランス語を共有できればと思ったことです。私自身、外国語を学ぶことが好きですが、海外の人たちにフランス語を教えることで、フランスの文化も教えることができます。私も海外の文化を学ぶことができるので、おもしろいです。

ーレアさんは何語を勉強しましたか？

スペイン語、英語、それから、アラビア語と日本語を少しです。

ー日本語を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

私が日本の文化に興味を持ったきっかけは、15歳のときに、地元シャトルーの商工会議所で茶道や華道のイベントに参加したことです。興味があるのは、例えば、お寺や神社や祭りやきれいなゆかたなどです。日本はとてもモダンですが、古い文化も一緒にあります。日本の人たちはとても親切で、お互いを尊敬しているように思います。フランスとは異なった文化だと思います。

ー教育実習の場所として市大を選んだ理由を教えてください。

広島市立大学はオルレアン大学の提携校です。私はオルレアン大学附属語学学校からフランス語の教育実習に来ていますが、私が市大で教えた学生が8月に短期語学研修でオルレアン大学に来るので、引き続き教えることができるということが、私にとって良い経験になると思いました。

私の修士の研究テーマになのですが、広島からオルレアンへというように学習場所が変わった時、学習者がどのように感じ、行動が変わるのかを観察するためです。

ー短期語学研修参加者がオルレアンに来た時のためのプランが何かありますか？

広島に来ることを考えているオルレアン大学の学生と短期語学研修に参加している市大生とで自己紹介しあったり、日本について学んだり、というアクティビティを考えています。

ー教育実習で市大生、日本の大学生を教えてください。

日本の大学生はまじめで勉強熱心だと思います。私が教えた学生はみんなフランス語をがんばっていて、フランス人学生より勤勉です。フランス人学生は宿題をしなかったり、授業中おしゃべりをしていたり、あまり勉強しません。

ー授業で語学センターの教室をいくつか使われていましたが、いかがでしたか？

フランス語の授業では408教室が良かったです。プロジェクターで電子テキストをホワイトボードに映して、活用表に直接書きこんだり、広島市立大学に来たいと思っているオルレアン大学の学生たちからのメッセージビデオを流したりしていました。

フランス社会論の授業では共同研究室が良かったです。小さい部屋なのでインタラクティブなコミュニケーションに適っていて、みんなの意見を聞きやすいからです。

ーオルレアン大学には語学センターのようにICTや機器が利用できる施設がありますか？

ないです。オルレアン大学も同じような規模の施設があれば、外国語を学ぶ学生にとって、とても良いと思います。常設の機器がなく、パソコンは学生が各自で持ち込みます。機器を貸し出しする場所があり、教員もパソコンやプロジェクトを自分で持ち込みます。



（左）レアさん（中央）西さん（右）大場静枝先生、語学センター事務室にて。オルレアン大学からの教育実習生受け入れの道を開いた国際学部大場先生は、レアさんの市大での指導を担当。

(→2ページから続く)



レアさん、フランス語Ⅲの教育実習風景  
夏の短期語学研修参加者が受講

フランス語を学習している皆さんへのアドバイスをお願いします。

フランス語の文法を学ぶことはとても難しいと思います。ですので、完璧にフランス語の文法をマスターするよりも、

文法の間違いをしているのでも、まずはがんばってフランス語で話すことが一番大事だと思います。

たくさん話す機会を作ることで文法の間違いが少なくなっていくと思うからです。たとえ間違えてもいいからという気持ちで積極的に話しかけに行くということが重要だと思います。

ーオルレアン大学のPRをお願いします。

オルレアンは歴史ある古い伝統的なフランスの町だと思います。オルレアン市のまわりにはフランス革命以前の城が多くあり、市街でも昔から変わらない風景を感じること

ができます。オルレアンでの生活では多くのイベントもあります。外国の人の数も少ないので、フランス語で話すことがとても大事になってきます。町のサイズはパリなどに比べると小さく、町の位置もフランスの中央にあり、旅行をするのにはとても便利な街だと思います。パリから電車で約1時間の場所にオルレアンはありますので、パリで美術館などに簡単に行くことができ、曜日によって、学生は無料でルーブルなどへ行けるので、是非行ってほしいと思います。

ー逆にオルレアンの皆さんに市立大学のPRをお願いします。

広島は歴史もあり、興味深いです。広島市立大学はとてもモダンな大学で、学生はとても親切ですすぐに馴染むことができました。広島ではぜひ訪れてほしい場所がたくさんあります。例えば、宮島や原爆ドームや平和公園などです。

市大での生活は、お友達もすぐにできて本当に楽しかったです。また日本に来たいです。がんばります。

《西さんに通訳してもらいながら、レアさんもがんばってたくさん質問に日本語で答えてくれました。》

### 全留学生対象 eラーニング JLPT N1 模擬試験実施

昨年度に引き続き、全留学生を対象とした日本語eラーニングを6月に実施しました。今年度は、JLPT日本語能力検定試験の1級突破を目指している留学生を対象とした模擬テストで、後期も実施予定です。

システム : インターカルト日本語 Super 日本語  
 学習内容 : JLPT 日本語能力試験模擬テスト Lite N1  
 実施日程 : <前期> 2017年6月24日~7月2日  
 <後期> 2017年11月5日~12月3日  
 受講者数 : <前期> 9名  
 受講料 : 無料

### 廊下ギャラリー展示 短期語学研修等写真展

短期語学研修や国際交流プログラムの募集時期に合わせて、下記のとおり、昨年度の様子を写真で展示しました。

- ① 2016年度実施 短期語学研修写真展  
4月4日~5月18日
- ② 2016年度実施 サンフランシスコ・マレーシア交流プログラム写真展  
5月25日~6月18日
- ③ 2016年短期語学研修、海外交流プログラム、海外大学からの学生受入・交流時の総括写真展  
7月5日~10月9日 \*延長展示中



### ミニコラム 外国語に想う【48】

情報科学研究科 教授  
日浦 慎作

#### たどたどしい話を聞いてもらえる条件



MIT Great Dome 前にて

外国語は、かなり努力を重ねてもなかなかネイティブスピーカーのように話すことはできません。話している内容が伝わるといことと、流暢に、自然に感じられるということとの間には大きなギャップがあり、短時間なら我慢できても、長時間のトークとなると聞き疲れてしまいます。それでは、たどたどしい外国語でも最後まで興味を持って聞いてもらえる条件とは何でしょうか。

私が米国マサチューセッツ工科大学(MIT)で客員准教授をしていたとき、滞在先の研究者に「君の技術はこちらに詳しい者がいないから、私の大学院講義の1コマ分で講義してくれないか」と頼まれたことがありました。準備期間が短かったことや講義時間が長いこともあって、事前には要点整理ぐらいしかできず、講義中はかなりブロークンな英語だったと思いますが、それでも学生たちは最後まで熱心に聴講してくれ、多くの質問の手も上がりました。その理由は、学生さんたちの高い学習意欲や興味関心があったからにほかなりません。

コミュニケーションは、極論すれば相手にとって有用な情報を与え合うことです。それがただの冗談話であったとしても、面白かったり笑い合えたりすることが大切で、言葉はその手段に過ぎません。相手が耳を傾けるに値する専門知識や技術・見解、アイデンティティ、またはジョークのセンスを持つことは外国語コミュニケーションの大前提です。だって、どの国にも言葉が話せるだけの人ならいくらでもいるわけですから。



## アルベルチーナが力の限り呼び鈴を鳴らして ヴェロネーゼ《愛の寓意》（部分。ロンドン、ナショナルギャラリー）

大井健地（名誉教授・芸術資料館もと館長）

「私はアルベルチーナのうえに身をかがめて接吻しようとした」。

岩波文庫版4巻616頁第16行めにあるこの一文はノドに近くて隠れやすいのだ——右頁最左端の行。618頁4行めまでの、あそこら辺の実質3頁、夏の海辺のホテルのある一室でくりひろげられる永遠の一瞬は「花咲く乙女たちのかげに」のなかでも確実に強い印象を残す青春椿事の一シーン。愉快にナマナマしくて切実、さし迫って笑わせてもくれて爽やか。

それをもう一度読もうと——じっさい『失われた時を求めて』は何度もの読み直しに応えてくれるし、しかもどこから読み直してもいい——この拙文冒頭1行をとばしたままで進んで、やがてふり返ってノドに失われた行を見届けるのであった。

「廣大無辺な不滅の生命に比べると、宇宙の生命はあまりにも貧弱に思えた」とか、「眼球は、水平線の球形をもってしても十分に満たせないほどに拡大して」とか、語り手の「私」の興奮状態の支離滅裂とその思いの意味不明の展開にこちらは生唾を飲むどころか目ん玉パチクリ。「どうして世界が私の〔死の〕あとも存続するのか？」だって？ 跳びついて吸いつき、果実の匂いと味覚をむさぼろうとする「私」〔猿か蛭（ひる）か〕を制してアルベルチーナは叫ぶ。「やめて、呼び鈴を鳴らすわよ」「力のかぎり」、非常警報の呼び鈴は鳴らされる。

密室内、音声は客観的に2種だけ。アルベルチーナの大声と呼び鈴の長く鳴りひびく「けたたましい音」。

「あなたの好きなことをして遊びましょう」、アルベルチーナはその日の昼間「私」を宵の部屋に誘った。ベッドに入って待っていた「アルベルチーナは私を喜ばせようと…髪をすっかりほどき、私を見つめて微笑んでいた」。それは全く、ティツィアーノ《ウルビノのヴィーナス》と見紛うポーズであり、次もまた引き続き巨匠の登場。

アルベルチーナの顔は「めくるめく渦巻に呑みこまれるミケランジェロの諸像のように、熱く燃える天体の回転に思えたというのだ。当事者の内面の超スケールの絶景は傍目には窺い知れないが、「ミケランジェロの諸像」の登場が僕には笑える。これは決して静謐なフェルメールでも流麗なカルパッチオの出番でもない。——

過ぎ去った美しい情景が思い出のなかに息づく。憶いだそうとして現にある意志的記憶をまさぐるのではなく我知らずに不覚の急襲として立ちあがってくる過去がある。レミニサンス（reminiscence）、時は甦る。

潔癖な澄明な無意識的再生のために、失うべくして失う時間も一方であるだろう。プーレストはこの長編執筆に際し金銭や日付けや数値を欠落しているくせに構成や時制や語り口にはあれだけ緻密な策をこらしている。

スワンの妻、娘に次ぐ第3のヒロイン、アルベルチーナは精確な輪郭を持たない。顔すら定まらない。ほくろはあったがどこらのあたりだったのか。風評では貧しい孤児だったという。

夏、海浜の幻影か。避暑地の堤防のかなたから出現する群れ鳥のような乙女集団。ふたりがゴルフのクラブを持つ。ひとりがポロ帽で自転車を押している。アルベルチーナだ。

印象派の風景を背に、ゆきぶりの女性たち。“ふしだら”な女と見えたのは誤りで完璧に品行方正というのが答。正解が明確になった結果、知的な関心を含んだ彼女へのさまざまな雑多な欲望の全てが消失する。つまり現金な「私」は接吻がないとなると熱は失ってしまうのだ。「赦してあげるわ、でも2度とあんなことはしないで」。

アルベルチーナが接吻拒否の代替にくれたのが「小さな金のシャープペンシル」。彼女は接吻なんてしなくてもそれで友情が減るわけじゃないというが、しても減るもんじゃないぜ、と非生産的な理屈は言い返せる。どだい鉛筆でキスの口はふさがれない。「私はアルベルチーナをどれだけ知っているのだろうか？」美しさなら彼女よりヴェロネーゼの描く女たちの横顔のほうが優ると判断している

「私」。彼女は同性愛者、「ゴモラの女」ではないかという疑念に「私」は至る。

アルベルチーナはこれから“籠の鳥”にされてそして逃げ去る。謎めくまま落馬死の報せがきて消える。

「同性愛者を見る作者の目はまったく仮借なきまでに冷酷非情であって、これは断じて同性愛弁護の小説ではない」と井上究一郎（『ソドムとゴモラ』への船出）も言う。だが、この問題はこのままでは済まない。『現地レポート世界LGBT事情』（F・マルテル、林はる芽訳、岩波書店'16年11月。原題GLOBAL GAY）を図書館から借りてきたのはアルベルチーナとプーレストの謎のせいである。無知ゆえにアドヴォカシー（Advocacy）の学習を覚悟するのさ。「北に圧力」「国境に柵」？ 国境を越える人権について考察と議論の深化。文学も芸術も常に更新するのだ。「LGBTの権利は今や基本的人権」なのだ。『現地レポート…』が唱道する「LGBT（性的マイノリティ）解放の〔世界〕地図」の示すのは何の図解か。



ヴェロネーゼ《愛の寓意》（部分）ロンドン、ナショナルギャラリー—アルベルチーナより美しい、ヴェロネーゼの描く女の横顔——高遠弘美氏の選定作品

## 市大初！在学中に実用フランス語技能検定試験 1 級合格 国際学部 西さんに訊く、合格への道のり

2017 年度春季に実施された、実用フランス語技能検定試験 Diplôme d' Aptitude Pratique au Français で国際学部の西航平さんが見事 1 級に合格しました。2016 年度の仏検 1 級の合格率は 10.6% ととなっており、非常に合格するのが難しい試験です。西さんは、語学センターの語学教材を定期的に利用し、熱心に学習に励んでいました。西さんに、仏検 1 級合格までの道のりや今後の目標などについて、メッセージを寄せていただきましたのでご紹介します。

### 「中級者からの“言い換え力”」

国際学部 4 年生\*  
西 航平

#### 一語学の学習方法は？

私は以前より、単純な口語的語彙や表現から脱却して、状況に応じた言葉遣いが出来るフランス語力を身に付けたいと思っていました。難しい語彙・表現を適切に使いこなせれば、例えば社会問題などを論じる際、発話・文章内容に理解しやすさや説得力をもたせることができます。これは検定合格に関わらず、次に目指すべき段階として必要なスキルであると考えていました。

具体的な学習方法として、まず分野や形態に関わらずあらゆる文書を読み、「カッコいい！」と思った語彙・表現や文章構造をメモすると同時に、自分がそれまで用いていた稚拙な表現を並べて書く「言い換え単語帳」を作成しました。その過程には自己の関与（自身の稚拙な口語と並べて反省する行為）があるために、単純に難単語・難表現を並べただけのものよりも格段に身に付きやすかったです。次に、適当な論題を設定し、言い換え単語帳を参考に奥行きのある文章作成を心がけながら、論考のシナリオを幾つも作りしました。これはライティングの練習になりますが、このシナリオを片手にプレゼンの練習をすることでスピーキングも向上させることができます。



#### 一生活の中での語学との関わり

ところで、今回の受験は留学より帰国後一年以上が過ぎてのことでした。日本ではフランス語活用の方が少なく、本番がないのに必死に練習しているようなもので、学習に徒労感を抱き始めたころでした。そんな中で一級受験がつかの間の動機付けとなってくれたのですが、その過程では外国語を学び使用する楽しさを再認識することができ、一時的ながら、幸福感や自信に満ち溢れた、海外帰りのあの興奮状態が蘇りました。

#### 一今後の目標、語学への想い

今後は、これまで趣味として学んできたフランス語を他者の為にも用いることで社会貢献をしたいと強く思っています。残念ながら現在の日本の労働市場ではフランス語話者への需要が少ないため、フランス語を手段として経済価値を生むのは容易なことではありません。しかし身近なところ（例えば市大に来る留学生のサポートなど）から、外国語の有効な活用ができると信じています。

\*インタビュー時

### 2017年度前期 いちだい知のトライアスロン映画上映会開催

6月19日(月)～6月23日(金)に、語学センターにて、いちだい知のトライアスロン映画上映会を開催しました。国際学部のヴェール・ウルリケ先生にご協力いただき、国際学部専門科目「多文化共生入門」との連携企画で行いました。映画を推薦してくださった国際学部の柿木伸之先生に映画の解説をしていただき、大盛況な上映会となりました。7本の作品を日替わりで上映しました。後期には、国際学部専門科目「言語・コミュニケーション研究入門」との連携企画で映画上映会を開催予定です。

**テーマ：** 他者との共生を歴史から考える：共存の知恵、差別と迫害の記憶

**映画解説：** 6月20日(火) 14:40～16:10 国際学部 柿木伸之先生  
「アララトの聖母」

**その他上映映画：**「ソウル・キッチン」「ガイサンシーとその姉妹たち」  
「サラエボの花」「絞死刑」「歓待」

**\*番外編：**「ムーラン」(国際学部講義「多文化共生入門」で使用)

◆今回上記の作品を見逃した方は、附属図書館で視聴することができます。



柿木先生から映画について解説がありました

#### ◆視察・オープンキャンパス等報告◆

- 5月29日 ハノーバー専科大学 (10名)
- 6月 1日 進路指導教員対象大学説明会 (15名)
- 6月18日 プレオープンキャンパス (63名)
- 6月23日 広島国際学院高等学校 (28名)
- 7月 5日 広島県立五日市高等学校 PTA (36名)
- 7月30日 オープンキャンパス (201名)
- 7月31日 広島県立安芸高等学校 (6名)
- 8月22日 西南大学 (4名)
- 8月25日 四季が丘中学校 (17名)
- 8月28日 広島リビング新聞社「こども未来はっけん大学」(50名)
- 9月21日 鳥取県立八頭高等学校 (14名)
- 9月27日 豊平中学校 (28名)



「こども未来はっけん大学」  
初の小学生受け入れ

発行日 2017年10月5日  
発行 広島市立大学語学センター  
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東3-4-1  
編集 堀本真由美、加藤美奈 <内線：6410>  
Phone (082)830-1509 Fax (082)830-1794  
E-mail lang@intl.hiroshima-cu.ac.jp  
ホームページ  
<https://call.lang.hiroshima-cu.ac.jp/lang/index.html>